



# かけこ通信

令和6年度 第2号  
令和6年5月17日  
島根県立三刀屋高等学校  
掛合分校発行(文責:小川)

## 遠足へ行きました

4月26日(金)全校生徒そろって遠足へ行きました。行き先は「三次もののけミュージアム」「国営備北丘陵公園」でした。

学年別にバスに乗り込み、まず「三次もののけミュージアム」へ行きました。常設展示室「日本の妖怪」「稲生物怪録(いのう



もののけろく)」や企画展

展示室「妖怪大行進 in Japan」、チームラボ妖怪遊園地を巡りました。妖怪物語『稲生物怪録』の舞台となった三次の地で、日本の民俗・精神文化を学び、

「もののけ」の世界観や町歩きを楽しみました。

その後「国営備北丘陵公園」へ移動し、昼食をと

りました。昼食後は、広い公園内をそれぞれ思い思いに散策しながら、心身をリフレッシュし、友人たちとの親睦を深めました。

4月の慌ただしかった学校生活を離れ、たいへん有意義な一日となりました。



## 防災教育を行いました

5月10日(金)防災教育を行いました。避難経路と避難の仕方、安全の意識と身近な危険を認識することが大きな目的でした。この先迎える梅雨を前に、土砂災害を意識した訓練が主な内容でした。

掛高の校舎は土砂災害警戒区域にあり、常に校舎裏の山側斜面崩落の危険を想定して避難できるよう確認しました。



## 点上会を行いました

5月16日(木)から始まる中間考査を前に、5月10日(金)から点上会(平均点を向上させる会)が始まりました。

15日(水)までの期間、授業が終わった後に全員が自学するための時間を確保して、ノート整理やプリント学習を教室で静かに行っています。1年生も高校生活初めての考査に向けて全力を集中しています。



## 2年生営農体験実習(田植え)を行いました

5月9日(木)に2年生が「営農体験実習(田植え)」を行いました。当日朝はあまりの寒さに震えましたが、やがて好天に恵まれ、気持ちの良い気温の中で実習を行うことができました。



午前中は、まず宇山営農組合代表理事の藤井さん、理事の須山さんから、組合の現状や課題、「たたら焔米(ほむらまい)」「うやま米」の米作りの様子などを、クイズを交えて詳しくお聞きしました。次に、雲南市農業畜産課の野々村さんから、輸出先の台湾について写真をふんだんに使って紹介していただき、お米について学習しました。その後、2班に分かれて、営農組合のお二人へインタビューをしました。米作りのやりがい・楽しさや苦労、宇山地区のお米のおいしさなど、次々に質問しました。

昼食は準備していただいたうやま米のご飯の入ったお弁当をいただきました。一口目から歓声が沸き上がるなど、お米の甘さやおいしさを味わいながらその魅力を感じることができました。



昼食後はいよいよ田植えです。農具「ばばひき」を使ったライン挽きも教えてもらい、その線の上に、全員で苗を植えていきました。田植え経験者も何人かはいますが、多くの生徒は初めてでした。青空の下、賑やかな声と足元がおぼつかない中で、思わず尻もちをついたり、泥だらけになったりして、農家の方々の



大変さを実感することができましたが、「楽しくて時間があっという間だった」「またやってみたい」とみんなで協力して田植えができたことに達成感を抱く生徒も多くいました。

今後も、宇山営農組合の皆様や関係方面の方々との協働しながら「たたら焔米」「うやま米」の販売戦略、広報などを行っていき、秋には稲刈り、台湾研修での販売も体験します。

すがすがしい天気の下、どんどん緑の稲がきれいに植えられていく様は見事なものでした。



## DXハイスクールに採択されました

『高等学校DX加速化推進事業(通称DXハイスクール)』は、文部科学省が「高校段階でデジタル成長分野を支える人材育成の強化」を目指し新たに立ち上げた事業です。デジタル教育の拠点として全国の高校から1010校(うち県内27校)が採択され、掛合分校もその1校として選ばれました。

今後はICT活用のための環境を整備して、近隣の小中学校との交流など地域連携を図り、高校生が地域の小中学生にデジタル技術を指導するなど、デジタル人材の育成につなげたいと考えています。